

ドイツ製世界全図について



写真（実寸 108cm×167cm）

【解説】

1856年にドイツで作製・出版された世界全図。銅版印刷技術を用いており、地理が精密に表現されている。ヨーロッパで作製された世界全図でありながら、日本が地図の中心に配置されていること、青色で海流が表現されていること、また、経度の基準として、パリ、グリニッジ、フェロー諸島の3つが使用されていることなど興味深い点が多い。昭和13年5月、ドイツから水路部（現：海上保安庁海洋情報部）に贈られたもの。